

# みなみん

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」

令和4年9月22日  
練馬区立南田中小学校  
みなみん学級だより  
NO.18



9月21日(水)に、秋の遠足「大泉交通公園」に無事、行ってきました。雨や暑さについて心配しておりましたが、遠足当日の朝は、肌寒ささえ感じる気温でした。でもかえってそれが歩くには暑すぎず寒すぎず、ちょうどよい気候となり、子供たちの足どりも軽かったです。公園で活動したり弁当を食べたりしているときには薄日も差してきて、本当に心地よい気候の中、子供たちは思いっきり身体を動かして楽しんでいました。保護者の皆様には、お弁当の準備をはじめ、集合場所への送迎等ご協力いただきまして、ありがとうございました。子供たちにとって、思い出に残る1日となったと思います。

## ☆秋の遠足 「大泉交通公園」☆ (自転車編)

公園に着いて、まずはじめに公園の中の様子をみんなで見て回り、道路交通標識を守ることを自分たちよりも小さな他のお客さんたちに迷惑をかけないことを確認しました。そのあと、全員で自転車に乗りました。補助輪無しの自転車にスイスイ乗れる子供たち、補助輪付きの自転車に乗ったことがある子供たち、自転車に全く乗ったことのない子供たち、の3つのグループに分かれました。スイスイ乗れる子供たちは、心地よい風を感じながら気持ちよさそうに、笑顔で自転車をこいでいました。道路交通標識の勉強をして臨んだ今回の遠足でしたので、「止まれ」の標識を忠実に守り、しっかりと止まっていた子供たちも多かったです。でも、何と！守らずに進む子供たちもいて、びっくり！どうやら、分かっているように止まらない様子のように見え、近くの教員が声を掛けたりしました。これが、実際の道路だったらとても危ないことですね。ルールを守ることを学ぶ良い機会でした。ただ、進入禁止や一方通行の標識はよく守れていて、逆走をしている様子が全く見られなかったことは良かったです。補助輪付きの自転車に乗っている子供たちも、慣れてくると長いコースを走るようになり、少しスピードを出している子供もいました。交差点では歩行者用の信号もあるので、自転車に乗っている自分は何の信号を見て進むのかが分からなくなる場面も見られました。自転車に全く乗ったことがないという子供も、補助輪付きの自転車に乗ってみて上手にこげるようになると、コースを何周も回って楽しんでいました。



## (ゴーカート編)

全員が自転車の体験をしたあと、ゴーカートや遊具、砂遊びなど、自分たちのやりたい場所に行ってよいことにしました。ゴーカートに人気集中しました。コースを2周回って待っている人がいたら交代、というルールがありましたが、待っている人がいると、「いいよ。」と言って次の人に譲るなど、仲良く乗ることができました。カーブが曲がり切れないときは何回もハンドルを切り返している様子も見られました。踏切の標識については学習していなかったもので、みんな止まらずに進んでいました。踏切の標識があるときは一度止まることも、実地で学ぶことができました。実際、近くには大きな汽車の遊具があり、車掌さんのように汽車の先頭に立って、ゴーカートが通り過ぎるのを楽しそうに見ている子供もいました。初めはゴーカートに乗れなくても、何回か乗るうちに上手になり、楽しそうに乗っている子供たちも多かったです。



## (遊具・砂遊び・弁当編)

ブランコに思いっきり乗ったり、砂場で山を作り水を汲んできて流したりと、思い思いの遊びを楽しみました。ブランコもゴーカートと同じで、待っている子がいると譲り合って仲良く乗ったり、砂場遊びのシャベルやジョーロなど他の子が使った物もすすんで片付けたりと、心温まる行動をしている子供たちも多く見受けられました。教室を離れた公共の場でも、ルールを守ったり友達のことを思いやったりするみなみんの子供たちの素晴らしい面を、改めて発見することができました。

暖かい日差しが注ぐ中、おうちの方に作っていただいたり、自分でもおにぎりを握ったりしたおいしい弁当を、みんな、笑顔で食べました。30分間ほど午後の遊びをして、帰路につきました。涼しい気候にも恵まれて、帰りは疲れてはいませんが、泣いたり弱音を吐いたりする子供もおらず、頑張っ



て石神井公園の駅まで歩きました。

とても楽しい、そしてよく頑張った遠足となりました。